

華陽F (定) PTAだより Petit

全国高等学校PTA連合大会茨城大会 参加報告

去る8月22・23日、全国高P連全国大会茨城大会へ参加いたしました。「歴史の町で変革を!!」～新たな時代が目に入らぬか～のテーマのもと、茨城県水戸市を中心に盛大に開催されました。全国から集まったPTAの方々の熱気に圧倒されつつ、高校生のアトラクションを拝見する時間があったりと、盛りだくさんの内容でした。一部紹介しご報告いたします。

第1日目は第3分科会に参加いたしました。「新・生きる力と家族の絆」～子どもの心に風邪をひかせない～というテーマで石田智恵子氏の講演を聞きました。講演テーマは、「子育ては、気力・体力・経済力」でした。



- ・どんなことがあっても子どもを見放さない
- ・帰る場所があなたにはある!
- ・子どものどんな要望もNOと言わない
- ・子どものためなら、親の謝る姿も子どもに見せる

など、未来はあつという間に過去になる。だから今を大切に。自分の事も大切に!という心に響く言葉がたくさんあり感動しました。

第2日目は、本大会への参加者が多く、バスの遅延から、会場内での着席が叶わず、立ち見まで出るほど盛況だった二所ノ関^{ゆたか}寛部屋親方(横綱稀勢の里関)の講演でした。

演題は「人材育成の不易流行」。不易流行とは、いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと、つまり、古き良き時代の伝統は重んじるが、時代の流れも今の時代に合ったやり方で、二所の関部屋の運営、弟子の育成に向かわれているお話でした。



横綱自身が相撲界を引退後早稲田大学大学院で学ばれたことが相撲部屋の運営に深くつながり、大の里など幕内力士を輩出しておられます。



子育てはいつの時代も親の大きなテーマです。大切な弟子たちは、自分の子どものように接しておられる姿が印象的でした。親方も弟子も色々な試練を超えて相撲道に邁進しておられます。今回の講演会を通して、保護者として子どもの何を見て、何ができるかを考えさせられる大会でした。